保管用
よくお読みください
保証書別途

取扱説明書

シャワー用車いす
（ぴったりフィットシリーズ）

KS11-PF

● 目　次 ●

ご参考	1
安全に関するご注意	2
1.同梱部品の確認	7
2.安全ラベル	7
3.各部名称	8
4.お使いになる前に	9
5.使用方法及び操作方法	10
6.お手入れの方法	14
7.保管についてのお願い	14
8.保守・点検	15
9.付属品の取付方法	16
10. 仕様	17
11. 材料・材質一覧表	18
12. 製品記録	19
13. 保証	20

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードしていただけます（http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm）。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご使用の際には必ず携帯していただき、必要なときにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

KAWAMURA 株式会社カワムラサイクル

[ご 参 考]

介護保険法では、入浴介護に関連した基準が定められています。

◆指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準

(平成11年3月31日 厚生省令第37号)

第三章 訪問入浴介護

第50条(指定訪問入浴介護の具体的取扱方針)

一　指定訪問入浴介護の提供に当たっては、常に利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえ、必要なサービスを適切に提供する。

二　指定訪問入浴介護の提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者又はその家族に対し、サービスの提供方法等について、理解しやすいように説明を行う。

三　指定訪問入浴介護の提供に当たっては、介護技術の進歩に対応し、適切な介護技術をもってサービスの提供を行う。

四　指定訪問入浴介護の提供は、一回の訪問につき、看護職員一人及び介護職員二人をもって行うものとし、これらの者のうち一人を当該サービスの提供の責任者とする。ただし、利用者の身体の状況が安定していること等から、入浴により利用者の身体の状況等に支障を生ずるおそれがないと認められる場合においては、主治の医師の意見を確認した上で、看護職員に代えて介護職員を充てることができる。

五　指定訪問入浴介護の提供に当たっては、サービスの提供に用いる設備、器具その他の用品の使用に際して安全及び清潔の保持に留意し、特に利用者の身体に接触する設備、器具その他の用品については、サービスの提供ごとに消毒したものを使用する。

◆指定居宅介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準について

(平成12年3月17日 厚生省老人保健福祉局企画課長通知　老企第43号)

第四 運営に関する基準

九 介護(基準省令第一三条)

(二)　入浴の実施に当たっては、入所者の心身の状況や自立支援を踏まえて、特別浴槽を用いた入浴や介助浴等適切な方法により実施するものとする。

なお、入浴の実施に当たっては、事前に健康管理を行い、入浴することが困難な場合は、清しきを実施するなど入所者の清潔保持に努めるものとする。

安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明]

※正しい取扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

⚠ 警 告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合、障害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
禁 止	してはいけないことを示しています。
必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

⚠ 警 告

禁 止

●この車いすは、入浴（室内）用に設計されています。平らな場所以外では、ご使用にならないでください。

●背シートの面ファスナーを確実に固定してください。絶対に背シートを外して使用しないでください。転倒の原因となります。

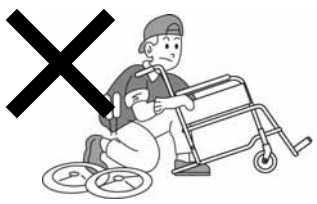
●前ハンドルを水平にしたまま立ち上がらないでください。

●入浴・シャワー以外の目的で使用しないでください。特に、浴室内ではすべって非常に危険です。
踏み台・台車など本来の用途以外に使用しないでください。また、介助者は車いすに乗って介助しないでください。

●倒れ掛かるような急激な座り方はしないでください。また、座シート部以外に腰かけないでください。
転倒または壊れてケガをする恐れがあります。

●車いすを火気に近づけないでください。
シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。
熱湯消毒についても同様です。

●勝手に改造・分解しないでください。
強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因になりますので、絶対に改造・分解しないでください。本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。



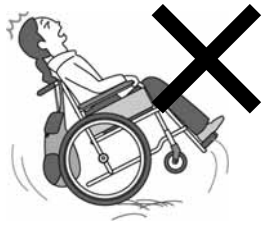
⚠ 警 告

禁 止

●複数の人数で乗らないでください。
この車いすは、一人用です。二人以上で乗ると破損・事故の原因となります。

●手押しハンドルに寄りかかったり、歩行補助として使用しないでください。

●バックサポートに重いものを引っ掛けないでください。
転倒の原因となります。



●移乗の際は、介助者がしっかりと介護者を支えて行ってください。
コンパクトな設計のため、不安定で転倒する恐れがあります。

●車いすに乗り降りする際、一時停止する際は、必ず駐車用ブレーキ（足踏みブレーキ）をかけて車いすが固定されていることを確認してください。

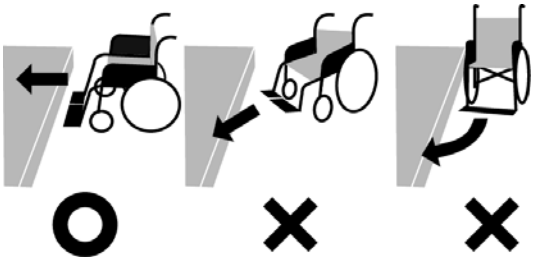
●大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。

●大きな段差を無理に乗り越えようとしないでください。

●段差を乗り越える際は、固定されているパイプを持ち上げてください。
決して勢いをつけて乗り越えないでください。大変危険です。また、フレーム及びキャスタ車輪等の損傷を受けます。

●段差を乗り越える前に前のめりになりすぎたり、キャスタを浮かせすぎたりしないでください。
転落・転倒の原因となります。

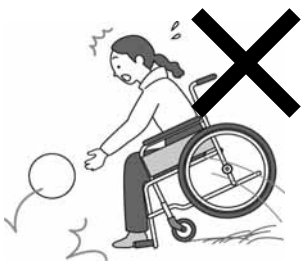
●発進するときや段差を乗り越えるときには、キャスタのタイヤが真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。
斜めに進入したり、キャスタタイヤが斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、キャスタが破損して事故の原因となる恐れがあり大変危険です。



●可動部に指や手を挟まないようにしてください。ケガの原因となります。

●車いすでの走行中は、身体を乗り出さないでください。
車いすが不安定になり危険です。

●車いすに座ったまま強い前傾姿勢をとらないでください。
車いすに座ったまま前方の地面に置いてある物を拾うと、車いすごと転倒し大変危険です。



⚠ 注 意

必ず守る

●重度者の介護には、必ず二人以上の介助者が付き添ってください。

●介助者は、車いすの機能と操作をよく理解し、なれた状態で介助を行ってください。

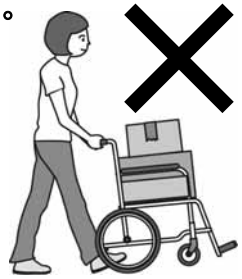
●ご利用者の心身の状況、症状を充分考慮し、適切な介助を行ってください。

●石鹸を使用した時は、必ず洗い流してからお乗りください。

●車いすに乗り降りの際は、必ずフットプレートを収納してください。
絶対にフットプレートの上に乗って車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。
転倒の原因となります。

●急発進、急停車、急な方向転換をしないでください。

●車いす以外の目的に使用しないでください。
物品運搬・踏み台などに使用しないでください。
車いすの上に立ち上がらないでください。



●車いすを持ち上げる場合、駐車用ブレーキをかけベースパイプをしっかり支えてください。

●フットプレートに足を乗せる時は、片足ずつ乗せてください。
両足同時に載せると転倒の原因になることがあります。

●走行中は、足を必ずフットプレートの上に乗せておいてください。
足を地面に付けたまま走行したり、フットプレートから外して走行すると、フットプレートと地面の間に足が巻き込まれてケガをする恐れがあり、危険です。

●足先（つまさき）やかかとが壁や柱、扉などに衝突しないよう、充分に注意してください。

●部品等が破損したり損傷を受けている場合は、すぐに部品を交換してください。

●傾斜地では、駐車しないでください。
傾斜地では、ブレーキをかけても車いすが動く場合があり、大変危険です。

●石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、ブレーキをかけても車いすが動く場合があります。充分に気をつけてください。

●足で車いすを止めないでください。ケガの原因となります。

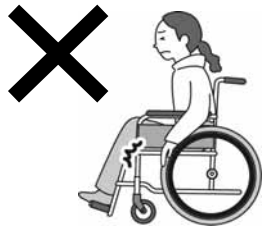
⚠ 注 意

禁 止

●本説明書に記載されている調整箇所以外の調整を行わないでください。
事故の原因となります。

●車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

●タイヤをもって車輪を操作しないでください。
駐車用ブレーキで指をはさむなど、大変危険です。



●ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。
ブレーキが変形・破損する恐れがあります。

●下記のようなところに車いすや部品を放置しないでください。

- 車道に近いところ
- 路面に段差や凸凹のあるところ
- 海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
- ほこりの多い場所
- 非常口、消火器、消火栓の前
- 直射日光の当たる場所（車内も含む）
- ストーブなど火気を使用し高温になる場所
- 子供がいたずらをする恐れのある場所
- 人通りのあるところ
- 湿気の多いところ
- 雨風の当たるところ
- 坂道
- 暑い日や寒い日の戸外

事故やサビ・破損の原因になります。

●小さなお子様には使用させたり遊ばせたりしないでください。

●車いすを浴槽につけてご使用にならないでください。

●温泉やプールなどの金属に悪影響を与える成分を含んでいる場合は、ご使用にならないでください。

必ず守る

●ご使用前には各部を点検してください。
車いすは“動くもの”ですから、長時間のご使用等により劣化が生じます。
ご使用前の点検を励行し、異常が見つかったら直ちにご使用を中止してください。

●車いすにバリなどがないかを確認してください。
衝突等により金属･樹脂部にバリなどが発生することがあります。ケガの原因となりますので、充分ご注意ください。

●介助者は、ご利用者が車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。

●車いすの乗り降りや移乗など車いすが不安定になりやすいときには、必ず２名以上の介助者が付き添ってください。

●安定した姿勢で座ってください。
シート深くに座ってください。左右にかたよらずに座ってください。
また、介助者は、ご利用者が安定した姿勢で座っていることを確認してください。

⚠ 注 意

必ず守る	●アームサポートは、上げた状態でご使用ください。 降ろしたまま使用すると転倒や思わぬケガの原因となります。 ●アームサポートに腕を乗せたまま、アームサポートを降ろさないでください。 ●フットプレートが障害物に接触しない位置で使用してください。 ●面ファスナーに糸くず、汚れなどが付いたときは取り除いてください。 取り除かないと、面ファスナーの接着力が弱くなり、事故の原因となります。

なお、この取扱説明書は、イラストが一部実車と異なる場合があります。

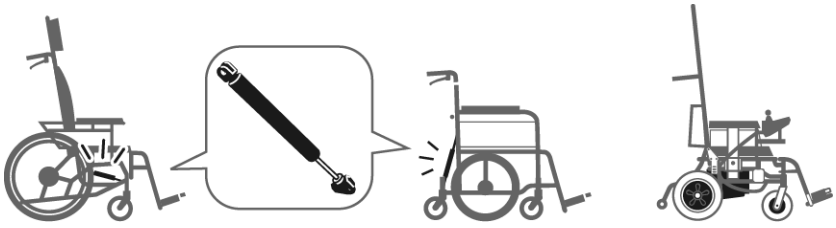
ご確認ください

飛行機にご搭乗される場合

お客様の車いすをご旅行先へ持っていかれる場合は、事前に利用予定航空会社又は旅行代理店にご相談ください。

事前確認なしに空港へ行きますと、航空会社の確認業務に時間がかかり、ご希望の便に間に合わなかったり、せっかくの旅行を取りやめなくてはならなくなったりします。

特に**六輪車、リクライニング車などガススプリング（ガスダンパー）を使用している車いす**は飛行機への搭載可否の判断に日数を要する場合があります。また、電動車いすや電動ユニット装着車いす及び特殊車いすについてもご希望の便によっては貨物室のスペース確保が出来ない場合があります。はやめの手続きでスムーズなご旅行をお楽しみください。



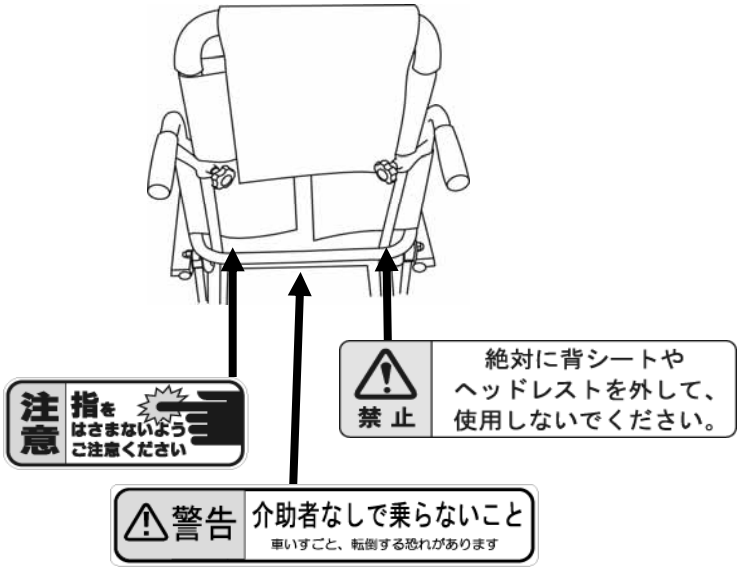
1.同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

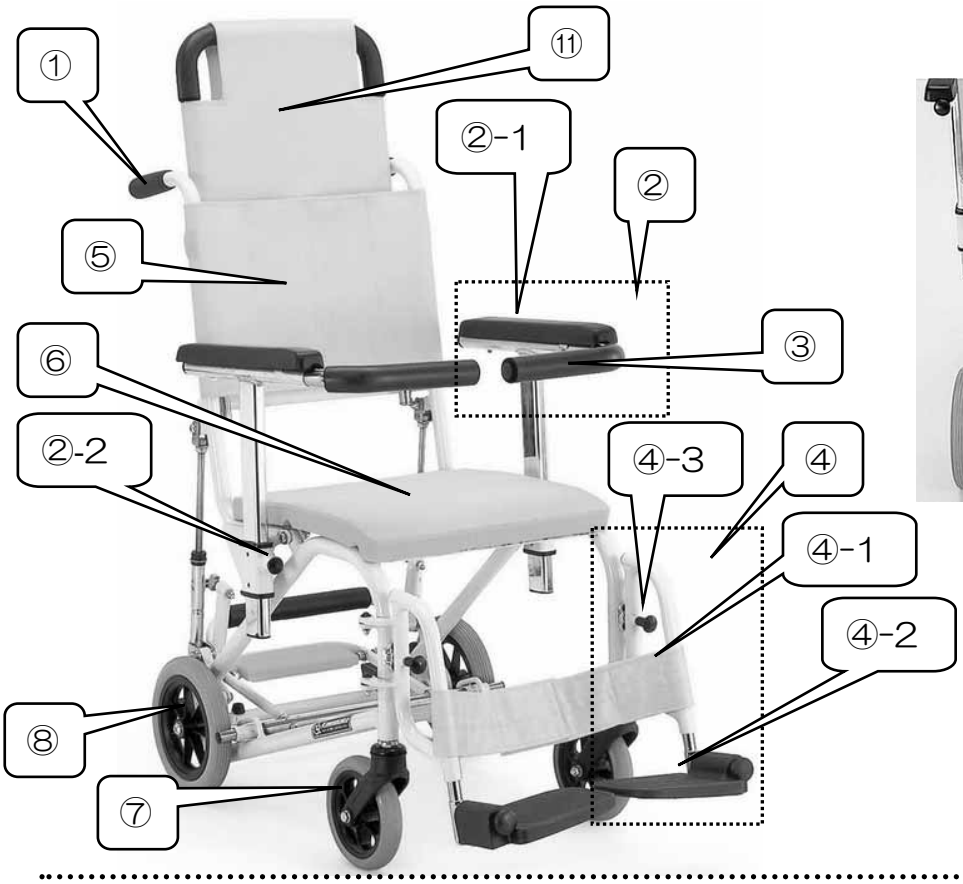
- 取扱説明書　１式
- 保証書はがき　１枚
- 背延長　１個
- ノブネジ　２個
- 13mm スパナ　１個
- 4mm 六角レンチ　１個
- 転倒防止金具　１台分
- ティッピングゴム　２個

2.安全ラベル

- 取扱い上の重要な事項を記載した安全ラベルが貼ってあります。
- 安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。
- 安全ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。



3.各部名称



①手押しハンドル（押手）	介助者が車いすを移動させる際に握る部分です。
②アームサポート（肘掛け）	移乗しやすくなるよう上下できます（上下式）。
②-1 肘当て	ご利用者が肘を乗せる場所です。
②-2 高さ調整スライドピン	肘を上下させる際に使います。
③前ハンドル	ご利用の際に握っていただくと安全です。
④フット・レッグサポート（脚部）	足を支持する装置です。
④-1 足ベルト	足が後ろに落ちないように支えます。
④-2 フットプレート	足をのせる板です。
④-3スイングアウトスライドピン	フット・レッグサポートをスイングアウトする際、取り外す際に使います。
⑤背シート	背もたれシートです。
⑥シート（座面）	中央に座ってください。
⑦キャスタ（前輪）	自在に方向転換できる小車輪です。
⑧車輪（後輪）	主輪です。
⑨足踏みブレーキ	車いすを駐車するときに使います。
⑩リクライニングレバー	背もたれを倒す際、踏んでいただくところです。
⑪背延長	頭をよりかからせるところです。（取外し、高さ調整可）

4.お使いになる前に

車いすを使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。
長期間使用を続けると、劣化が生じます。
衝突等でバリが生じることもあります。裸で使用するため、しっかりと点検を行ってください。
異常や不具合が見つかったらただちにご使用を中止してください。

＜装着品の確認＞

- 背シート、背延長、座シートはしっかりと固定されていますか？（P.10 参照）
- フット・レッグサポートはしっかりと取付けられていますか？
- フットプレートはしっかりと取付けられていますか？
- 転倒防止金具が固定されていますか？（P.16 参照）

＜ブレーキの確認＞

- ブレーキが正しく作動しますか？
- ブレーキをかけた状態で駆動輪が回転しないか？

＜アームサポート＞

- 正しく作動しますか？
- キズや亀裂等はありませんか？

＜フット・レッグサポート＞

- スムーズにスイングアウト、着脱できますか？
- フットプレートがパタパタしていませんか？
- キズや亀裂等はありませんか？

＜リクライニング＞

- スムーズにリクライニングできますか？

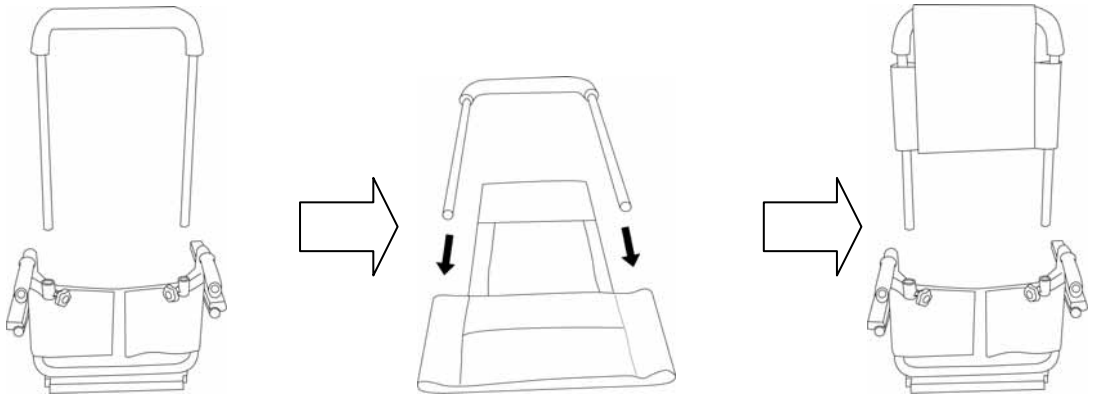
＜全体的に＞

- ガタつきはありませんか？
- まっすぐに走りますか？
- 各部ボルトやナットが緩んでいませんか？

万が一、ケガや事故が起きた際には、早急に当社へご連絡ください。
（連絡先は、裏面にございます。）
消費生活用製品安全法の改訂により、製造メーカーは被害を拡大させないためにも早急な対応が求められております。

5.使用方法及び操作方法

①背延長を取付けてください。



ノブネジを緩め、背延長をはずします。	背延長シートに背延長を通し、面ファスナー部を重ね合わせて固定します。	背延長をフレームの取付位置に差込み、高さを調節し、しっかりとノブネジを締めます。

ご利用の際には、背シートの面ファスナーのオスとメスをしっかりと張り合わせてください。

背シートは、下記目的のために取り外すことができます。
① 背中を洗う際に少し緩めるため
② ご利用後に乾燥させるため

禁 止

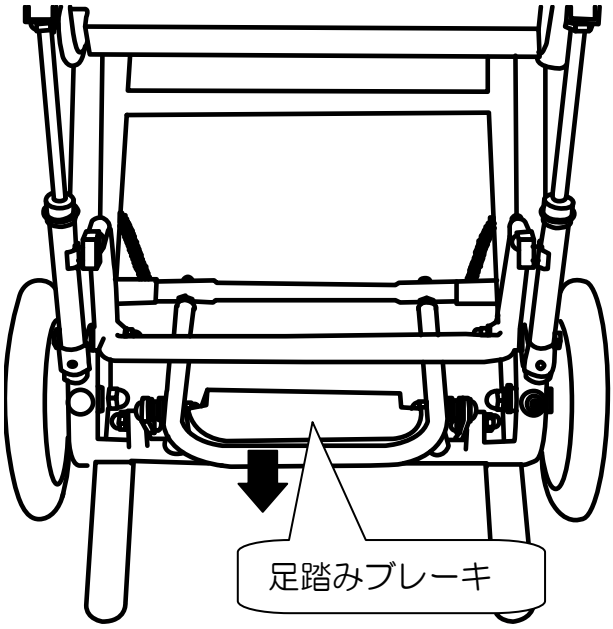
●絶対に背シートを取り外して使用しないでください。転倒の原因となります。

警 告

●背シートの面ファスナーを確実に固定してください。面ファスナーの貼り合わせが弱いと背シートがはずれ、利用者が後方へ転倒する恐れがあります。背シートのない状態では使用しないでください。
●面ファスナーに糸くず、汚れなどがついた場合は、取り除いてください。接着力が弱まり事故の原因となります。
●面ファスナーの接着力が弱くなった場合は、使用を中止してください。新しい背シートとの交換が必要です。その際には、お買い求めの販売店にご相談ください。

②足踏みブレーキをかけてください。

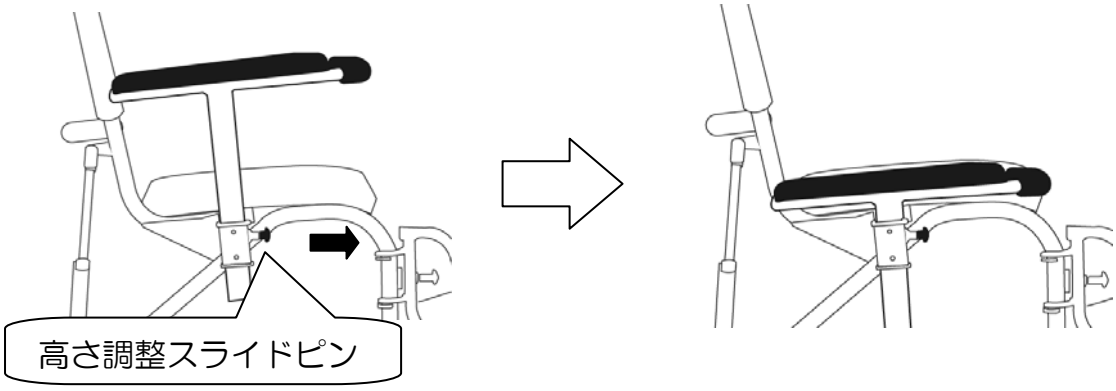
足踏みブレーキを踏むとブレーキがかかります。解除する際は、足の甲等で上に押し上げてください。



⚠ 警 告

必ずブレーキをかけてから、お乗りください。
（車いすが動き、転倒する恐れがあります。）

③アームサポートを降ろします。



どちらか一方の肘掛けのスライドピンを外側に引き、肘掛けを下まで降ろします。
肘掛けを引き上げたときに受け部にしっかり固定されている事を確認してください。

⚠ 警 告

座位保持ができない利用者は、アームサポートを降ろすと転倒の恐れがあります。利用者の身体を確保してください。

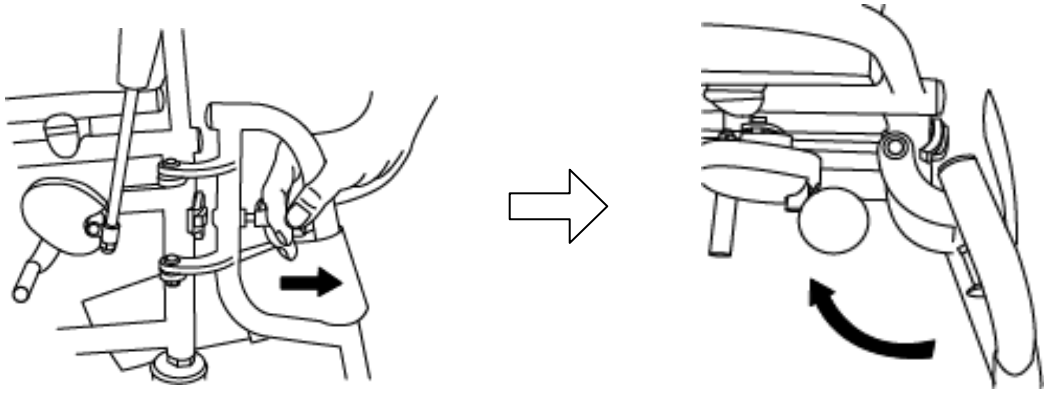
⚠ 注 意

アームサポートを下に降ろす際に手をはさまないように注意してください。

④フット・レッグサポートをスイングアウトさせます。

＜スイングアウトの方法＞

レバーを引いて固定ロックを解除し、外側に廻します。

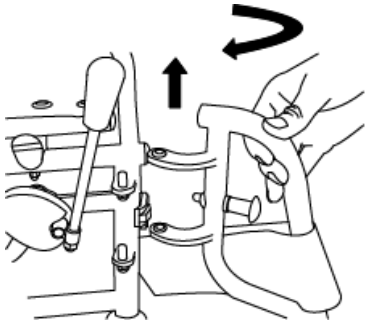


＜外すとき＞

上記のように外側にスイングアウトし、フット・レッグサポートを上に持ち上げます。

＜装着するとき＞

フット・レッグサポートの穴をフレームの突起に差込み下記のように固定します。



⚠ 警 告

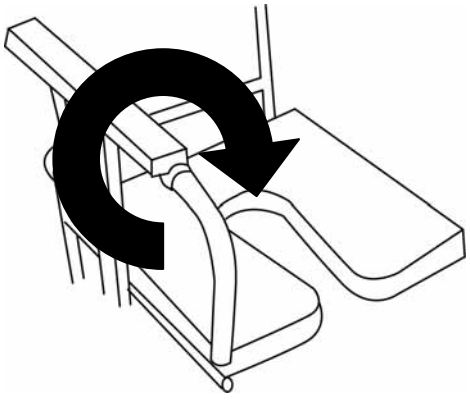
●フットプレートは、地面と平行にしてお使いください。収納の時以外は、フットプレートを立てないでください。

⑤シートに座ります。

シートの中央にゆっくりとお座りください。（片側に寄ってお座りになられますと、転倒する恐れがあります。）

⑥アームサポートを戻し、前ハンドルを回転させます。

降ろしたアームサポートを元にもどし、アームサポート先端部の前ハンドルを回転させます。

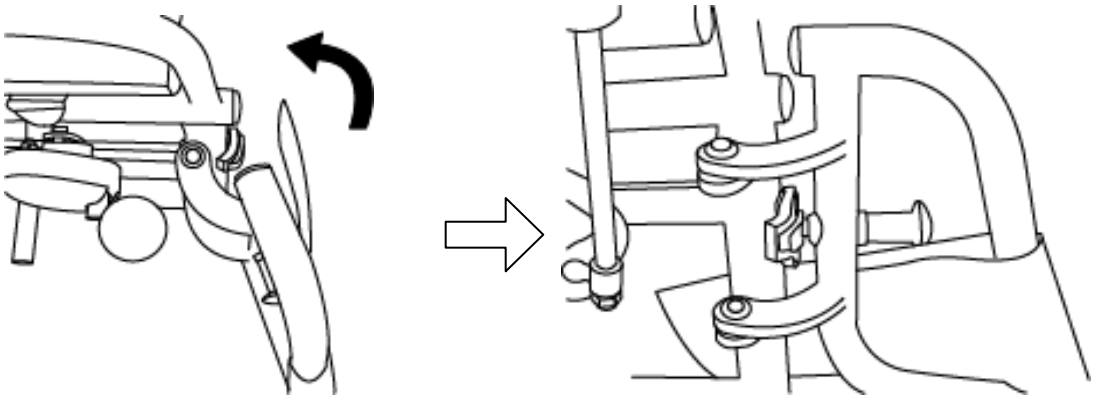


両側の肘掛け先端の前ハンドルを回転させ、腕を乗せます。

⚠ 注 意

●手を挟まないよう注意してください。

⑦足を載せます。



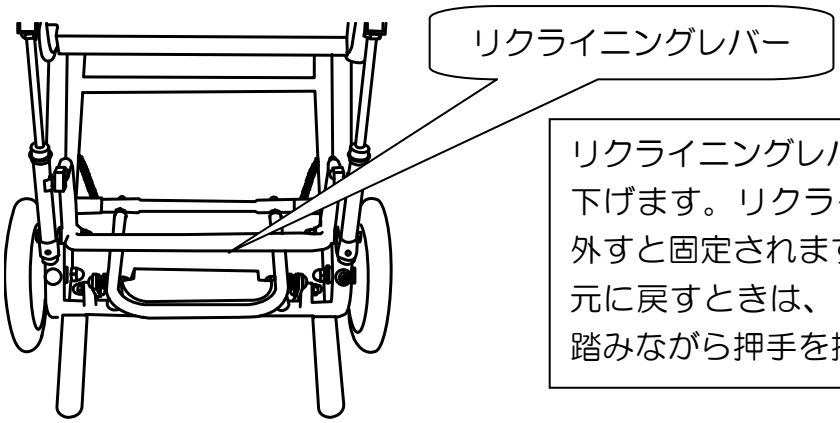
フット・レッグサポートを内側に廻し、フットプレートを降ろし、足を載せます。
※しっかりと固定されていることを必ず確認してください。

⚠ 注 意

●手を挟まないよう注意してください。
●ご使用になる際には、必ずフット・レッグサポートが固定されていることを確認してください。
●足は、フットプレートの高さ以上に上げないでください。上に上げ過ぎると、転倒の原因となります。

＜シャワーを始めます＞

⑧バックサポートを倒します。



リクライニングレバーを踏みながら、押手を下げます。リクライニングレバーから足を外すと固定されます。
元に戻すときは、リクライニングレバーを踏みながら押手を持ち上げます。

⚠ 警 告

●症状に応じて介助者は複数必要です。介助者一名では、思わぬ事故になる恐れがあります。利用者の身体から目を離さず、手を離さないでください。

⑨バックサポートを起こします。

洗い終わりましたら、バックサポートを元の位置に戻してください。

6.お手入れの方法

★金属部分（フレーム）

凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。
ご使用後は必ず乾燥させてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

★シート類

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。
バックサポートは取り外せますのでご使用後は干して乾燥させてください。ぬれたまま放置しますと、カビの原因になります。ご使用の際は必ず背シートを取り付けてください。取り外したままのご使用はたいへん危険ですので絶対におやめください。

＜汚れがひどいとき＞

●汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を用いてください。その後、乾燥させてください。
●しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
●洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

⚠ 注 意

●中性洗剤以外を使用しないでください。
中性洗剤以外の洗剤を使用すると、変質・変色・傷みの原因となります。

●シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。
変質・変色・傷みの原因となります。

●たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
傷みの原因となります。

⃠ 禁 止

●熱湯やオゾンで洗浄しないでください。故障・変質・変色の原因となります。
●絶対に背シートを取り外して使用しないでください。転倒の原因となります。

7.保管についてのお願い

車いすはお手入れの後、安全な場所に保管してください。

⚠ 注 意

●下記のようなところに車いすを放置しないでください。
・車道に近いところ　・人通りのあるところ
・地面に段差や凹凸のあるところ　・湿気の多いところ
・雨風が当たるところ　・海沿いの屋外（潮風の当たるところ）
事故やサビ・破損の原因になります。

8.保守・点検

～～　一ヶ月に一度は安全点検を行ってください!!　～～

★ブレーキはしっかり効きますか？

もし、異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★変な音がしませんか?

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★四点接地していますか？

キャスタ二輪と車輪二輪が接地しているかご確認ください。
四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。直ちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★まっすぐ進みますか？

平地で車いすを左右均等な力で押してください。自然に曲ってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。原因となっている箇所の修理・交換を行ってください。

★シートに破損やたるみ、傷みはありませんか？

車いすは湿気に弱いので、雨にぬれる場所などに放置していたり、長時間続けてご使用になるとシートにかび等が発生します。ご使用後は、本体と共に自然乾燥させてください。
背シートの面ファスナーは確実に固定してください。面ファスナーの貼り合わせが弱いと背シートがはずれ、利用者が後方へ転倒する恐れがあります。背シートのない状態では使用しないでください。

★ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐに緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★車輪やキャスタはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャスタを留めているボルトは緩んでいませんか？緩んでいると使用中突然車輪やキャスタが外れて転倒するなど大変危険です。充分ご確認の上、しっかりと締めてください。

★洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。
シンナーやベンジン・アルコールなどの揮発性のものは使用しないでください。
たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
オゾン消毒はしないでください。ゴム材料の収縮などの原因になります。
変質・変色・傷み・割れの原因となります。

⚠ 注 意

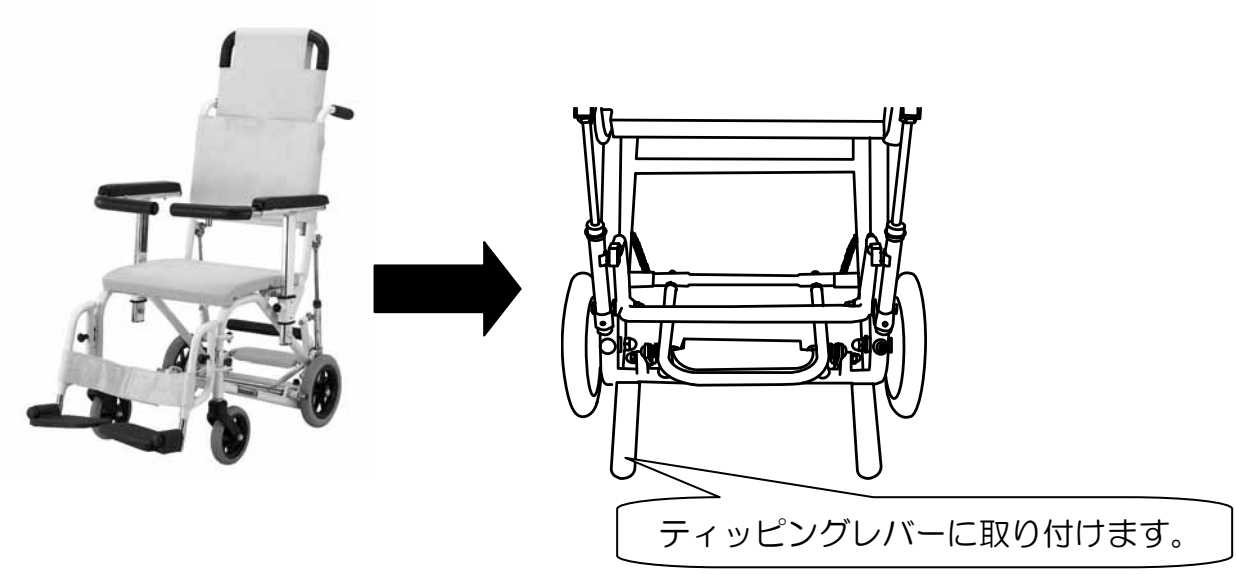
●スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
●異常が見つかったら、直ちにご使用を中止して販売店へご相談ください。

9.付属品の取付方法

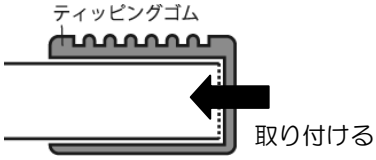
適用車種： KS11-PF
転倒防止金具：標準Ⅰ型
必要工具：(プラスチックハンマー　1 本)

● 取り付ける箇所

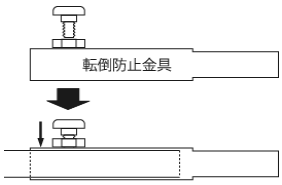
※正面からみた車体　　※後ろからみた車体



● ティッピングゴムの取付の場合
ティッピングレバーにティッピングゴムを取り付けます。
※ティッピングゴムが入りにくい場合はプラスチックハンマー等を使用して下さい。



● 転倒防止金具の取付の場合
ティッピングレバーの奥まで転倒防止金具を差し込み、ノブねじでしっかり固定します。



10.仕　様

品名・名称	標準仕様・規格〈KS11-PF〉
シート幅　（mm）	400
シート高　（mm）	455
レッグ長さ　（mm）	310・330・350
シート奥行　（mm）	400
バックサポート高　（mm）	410　～　865
アームサポート高　（mm）	220・240・260
全高　（mm）	890　～　1320
全長　（mm）	910　～1050
全幅　（mm）	520
重量　（kg）	15.8
フレーム形式	リクライニング式　折畳み無し
キャスタ	KS用　6inニューソフトキャスタ　パッキン式
キャスタ車輪	KS用　6inニューソフトキャスタ車輪
ヨーク	KS用6inパッキン式
車輪	8inウレタン車輪
背シート	背下シート：ベルトシート　イエロー
座シート	クリあり・クリナシ　イエロー
アームサポート	高さ調整式　上下落とし込み式
肘当て	A.スタンダードパッド　ウレタンチューブ
フット・レッグサポート	スイングアウト式（着脱可）
フットサポート	KS用
フットプレート	g.　黒色
ステップポスト	SPG-2
板バネ	KS用
バンパーゴム	SBG-d.　黒色
足ベルト	中央分離式/イエロー
駐車用ブレーキ	コの字型足踏みブレーキ
ハンドグリップ	1.反射板付き　黒色
転倒防止金具	キャスタ無し　標準Ⅰ型

※記載の重量や寸法は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

11.材料・材質一覧表

KS11-PF

（　　）：表面処理

フレーム	フレーム	主要フレーム	アルミ 7000 系
		表面仕上	溶剤型塗料使用
		溶接材料	アルミ棒
	背延長	フレーム	ステンレス
部品	車輪	タイヤ	天然ゴム,スチレン・ブタジエンゴム
		リム	ポリプロピレン
		ハブ	ステンレス
		ナット	ステンレス
		ベアリングオイル	グリース
	キャスタ	タイヤ	天然ゴム,スチレン・ブタジエンゴム
		ホイル	ポリプロピレン
		ヨーク	ナイロン,グラスファイバー
		キャスタ軸	ステンレス
		ベアリングオイル	グリース
	背シート	表地	ポリエステル
		芯	ポリ塩化ビニル
	足ベルト	ベルクロ	オス（ナイロン）　メス（ナイロン）
		糸	**ナイロン**
	座シート	クッション	EVA（黄,赤）
	肘当て	クッション部	ポリウレタン、発泡ウレタン
		中芯	スチール
		取付ネジ	ステンレス
	ハンドグリップ	グリップ	ポリ塩化ビニル
		反射板	ポリスチレン
	フットサポート	フットプレート	ポリプロピレン,グラスファイバー
		ステップポスト	ステンレス
		板バネ	ステンレス
		バンパーゴム	天然ゴム,スチレン・ブタジエンゴム
	駐車用ブレーキ	レバー	フレーム：アルミ 7000 系 クッション：EVA
		本体部 タイヤを押圧する部分	ステンレス
	メカロック	本体部分	ゴム,ステンレス
梱包材	梱包材	外箱	ダンボール
		内袋	ポリエチレン
		テープ	ポリプロピレン

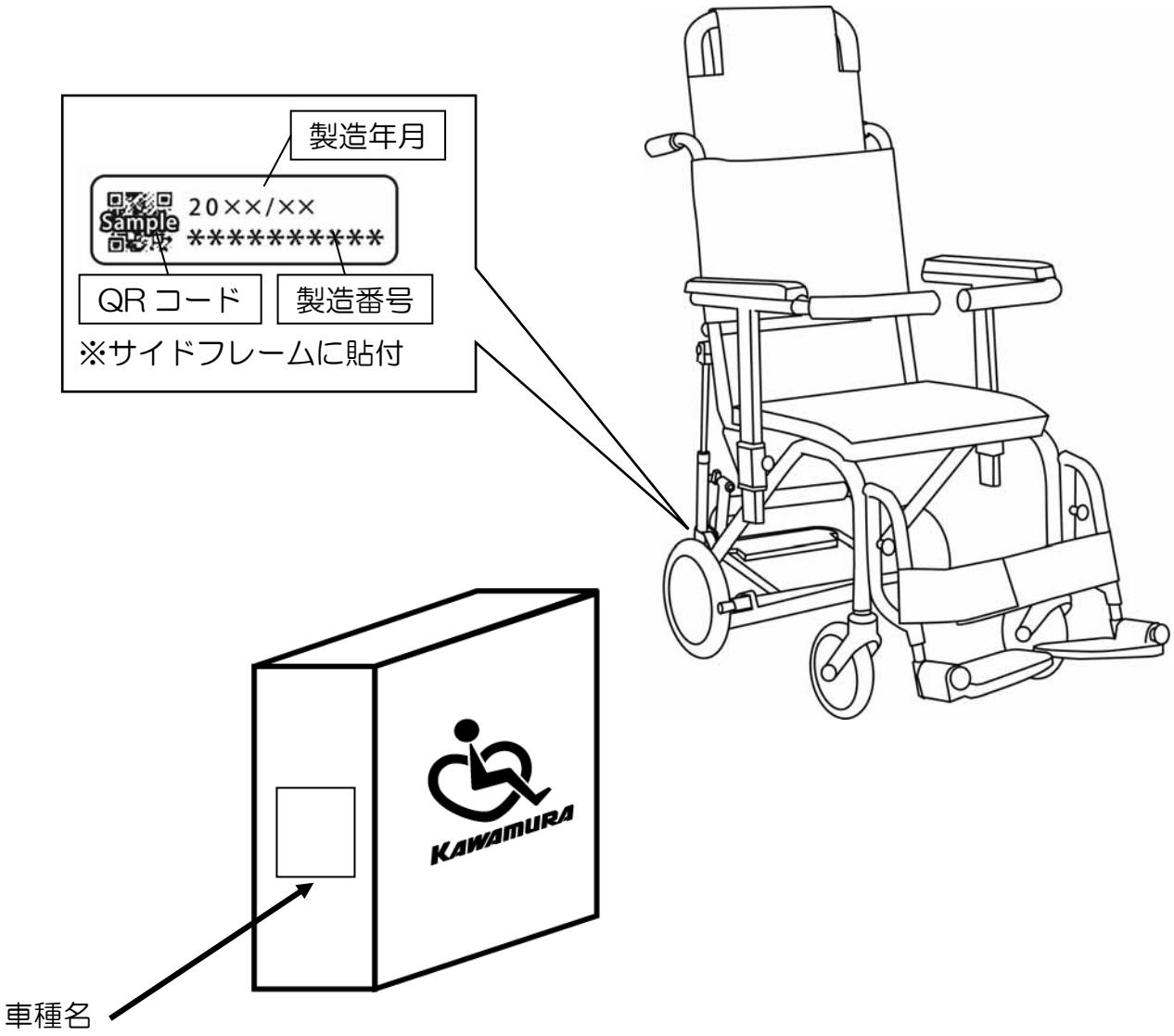
地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

12.製品記録

アフターサービスなどを的確に受けるため、製造番号を記録しておいてください。
車体番号はサイドフレームに貼り付けられています。

車　　種	
製　造　月	年　　月

＜シール貼付位置＞



13.保証

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において、故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。
返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へ
ご返送いただきご登録ください。
※ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

★保証期間

お買い上げ日より 1 年間です。（消耗部品は含みません。）

★保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★消耗部品

・肘当て　・足踏みブレーキー式　・キャスタ、車輪　・メカニカルロック
・背シート　・座シート　・足ベルト　・板バネ

★保証の適用除外となる場合

（ａ）ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
例）タイヤの磨耗およびパンク、シートの破損等
（ｂ）地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
（ｃ）お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
（ｄ）保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
（ｅ）弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
（ｆ）一般に車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
（ｇ）製品の本来の使用目的にそぐわない使用による故障破損
（ｈ）取扱説明書に従わずして生じた故障破損
（ｉ）取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
（ｊ）保証書をご返送いただいていない未登録の製品
（ｋ）日本国外でご使用の場合

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、５年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しください。

★一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

※異常や不具合が見つかったらご使用を中止して、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

メモ

メモ

株式会社カワムラサイクル

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1 リエス鹿野 1 階	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町１-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18 マックス大阪ビル 5 階	TEL06-6479-2055
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原１-18-3	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2014.12 版